

# まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



118号  
2010年3月23日

ときわ台の景観を守る会  
ときわ台まちづくり委員会  
代表 鈴木博之 近藤洋子  
事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

## ○ 「セピア色の写真展」訂正

117号で間違った期間をお知らせしてしまいました。

写真展は

4月29日(木)～5月4日(火)

です。お間違いなきようお願いいたします。

なお5月6日(木)～11日(火)は佐々木順子さんの「のはら新聞」展—野草のスケッチと文章—でした。こちらにも楽しそうですから是非ご覧ください。

## ○ 不法看板撤去員集会の報告

今月の初め、違反広告(ステカン)撤去ボランティアの委嘱式が区役所でありました。このステカン撤去と言うのは電柱などに針金や両面テープで取り付けられた不動産などの広告を取り除く活動です。勝手に取り除くことが出来ないため、行政が撤去してくれる人を広く募集し、その委嘱状の伝達式なのです。この地域でも数名が参加し、5年目になります。私は今回式に出席し、取り除くための苦労や参加の経緯を含めて活動報告をしてきました。撤去に参加している方々が大勢いらっしゃることに驚いてしまい、とっても嬉しく思いました。「大きな看板が駅前で倒れて針金や釘があって子供たちがあぶない!」と思っていたところ、区報でこのボランティアを知って参加したという個人の方、また町会の方、地域のまちづくりの方などさまざまです。皆、口を揃えておっしゃる事が「安全できれいな町にしたい」と言うことでした。夜中に電柱に括りつけ逃げるように立ち去る姿は許すことができません。これは「違反」なのです。これはどなたでも参加できます。地域の皆様一人でも多くの方々に関心を持って頂きたいと思えます。

## ○ 行政訴訟

3月2日11時半、東京地裁522号法廷で第5回の口頭弁論がありました。

駅前の藤和マンション建設をめぐる、道路についての法律違反と景観破壊の責任を行政に求めるものです。

広い郊外の土地ならいざ知らず、常盤台のようなきちんとした都市計画で作られている街に、道路幅を一部だけ広げて大規模住居を作ってしまうのは暴挙に等しいでしょう。

商業地域は住宅地に比べ、もともと規制が緩和されています。そこへ商店ではない集合住宅を建て、更に緩和を受けるようなやり方は、外部からのディベロッパーだから出来る事です。地元の商店は鮎兼さんのように4、5階どまりにする良識を持っています。

今回、原告のOさんが、消防関係について意見陳述しました。なんと、驚くべきことに藤和マンションの東側に入るところは消防車は曲がれないので進入しないのです。勿論はしご車も入れません。反対側からの道も同じです。火事が起きた時、どうなるのでしょうか。購入者はどんな説明を受けたのでしょうか。またそんな事態になった時、あの踏み切りは閉めたままなのでしょうか。

規格だけの道路を部分的に作るだけで、どんな規模の建物も建築可能になるなら、常盤台のような街でも環境や景観は破壊され放題です。この仕組みは何とかしなければなりません。

京都から龍谷大学の牛尾洋也教授も傍聴に見えました。原告適格に景観利益がどう位置づけられるのか、興味深い裁判です。

次回 5月21日(金) 11時半

## 私の故郷・常盤台（1）

石井幹子

父方も母方も三代前から東京へ出て来て  
いる私にとって、故郷と呼べる田舎がないの  
は残念だといつも思っていたのですが、近  
頃、私にとっての故郷は、常盤台だと気が付  
きました。

私は文京区の駒込で生まれ、二才の時常盤  
台に越して来ました。以来、物心がついて小  
学校の高学年まで住んでいたのが常盤台の  
一丁目でした。駒込の家の記憶は全くないの  
ですが、常盤台の家は、今でも図面が描ける  
くらいははっきりと憶えているのは、私にとっ  
ては常盤台の家や庭が物心ついてはじめて  
見た物ばかりに囲まれた、全世界であつたか  
らでしょう。

時は昭和の十年代で、当時はどこの家も大  
家族でしたが、私の家も祖母と父母に、父方  
の叔父、叔母と大勢で賑やかでした。私はは  
じめて生まれた内孫ということで、皆に可愛  
がられて育ちました。

当時の常盤台は、駅前から放射状に広い道  
路がついた住宅地で、一戸の区画が大きかつ  
たため、緑も多く恵まれた住宅地でした。私  
が住んでいた区画は、敷地の道路沿いに大谷  
石が積まれ、その上は築山のようになってい  
てつつじや榎木が植えられて自然の垣根の  
ようになっていました。

（先日、久しぶりに常盤台に来られた石井さ  
んが、編集部の依頼に依って寄稿してくださ  
いました。四回に分けて掲載しますので楽し  
みにしてください。）

石井幹子（照明デザイナー） 東京タワー・

レインボーブリッジ・白川郷合掌集落のラ  
イトアップ等を手がけ、セーヌ川での光の  
イベントなど世界的にも活躍中

### ポローニヤとの音楽交流

常盤台小学校合唱部の一部生徒が、イタリア  
のポローニヤに行き、合唱をする計画は、何と  
か渡航資金が集まったそうです。人選・寄付に  
頼った計画・付き添いの費用など、必ずしも全  
面的には賛成できないという声も聞かれ、計画  
者は苦勞の連続だったと思いますが、とりあえ  
ず今回は実現にこぎつけたとのこと。三月二  
八日の演奏では、この街の子供たちの元気な声  
を、イタリアに響かせて来ることでしよう。

### 昨今の政治状況は・・・

政治資金や内紛でドタバタするのも程々にし  
て、根本的な問題と早急に必要な問題に取り組  
んで欲しい、というのが庶民の本音ではないで  
しょうか。どこが政権を取っても、何時までも  
足の引っ張り合いをしていると、一番腐敗して  
いる部分の改革が遅れるのでは？ こういうド  
タバタの陰でにんまりしている人たちがいるの  
だし、十年後に日本は破綻するとか？

### 常盤台公園のはなづくり

バラの剪定を二月に済ませました。宮本町  
のMさんが、バラはお得意で、二回とも手伝  
いに来てくれました。常盤台駅まで行く時  
は、いつも見に寄るそうです。日陰なのに頑  
張っていると感心しています。

前号で紹介した水仙について、もし本当に  
欲しいのなら球根を差し上げたい、とTさん  
の申し出です。千葉の別荘に和水仙が沢山  
自生しているとか。今は季節ではないので、  
また呼びかけます。

冬枯れの芝生の間に早くも雑草が芽吹い  
てきました。スズメノカタビラがほとんどで  
すが、今のうちに抜くことにしました。すぐ  
に成長して種を飛ばすようになってしまっ  
ともう手遅れです。ゴルフ場では薬品を撒く  
といいますが原始的なのが一番。

ダリアの球根をYさんが注文しました。植  
えるのはトイレの横のベンチの後ろです。こ  
こは日当たりがよいのですが、子供たちがサ  
ッカーボールを蹴り込む場所でもあるので、  
ちよつと心配です。

クリスマスローズが花盛り。花付きがよい  
のが私たちの自慢です。Sさんが牡蠣の殻を  
まいています。原産地が地中海地方なのだか  
ら、酸性土は苦手だろうという見解です。  
チューリップの芽も元気に整列していま  
す。四月が待ち遠しいですね。

定例会 四月十日（土）七時

「ギャラリイ服部」にて